



# JAPANESE SOCIETY FOR INTERNATIONAL NURSING (JSIN)

## 国際看護研究会 NEWSLETTER No.83 2016



ナーシングホーム利用者の皆さんと@ゴールドコースト（Ⅱ．海外情報参照）

本号の内容は以下のとおりです。

- I 第 85 回運営委員会報告
- II 海外情報 京都橘大学看護学部国際看護学Ⅱ海外研修報告
- III 国際看護研究会第 19 回学術集会のお知らせ
- IV 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

※本文に記載されている振込先やメールアドレスについては、現在は使われておりませんのでご留意ください。

## I. 第 85 回運営委員会報告

---

国際看護研究会第 85 回運営委員会は 2016 年 9 月 24 日（土）に JICA 地球ひろば（JICA 市ヶ谷ビル）で開催された。第 19 回国際看護研究会学術集会準備状況についての報告が行われた。特別講演、シンポジウムに加えて「看護師隊員 OV カフェ～話そう！活かそう！つながろう！～」という JOCV OV 交流企画の説明があった。演題応募がまだ少なく締め切りが 10 月末まで延長される予定とのことであった。協議事項は、2015 年度決算案、2016 年度予算案について、学会化に伴う検討事項と今後の準備についてであった。2015 年度決算案については一部わかりにくい箇所があるため、注釈をつけて監査および総会に提出することにした。2016 年度予算案については今年度予定のない項目は削除する、学会化関連経費を計上する等修正することになった。また、総会で学会化が認められた場合の 2016 年度予算案の扱いについて検討した。

学会化に伴う検討事項については、名称、会則\*、NEWSLETTER 発行、外部委託等を中心に行った。学会誌を発行するため NEWSLETTER の発行はしないが HP の会員機能を用いて何らかの会員への定期的なお知らせは必要ということで合意した。委員会は「庶務、会計、広報、雑誌編集、教育活動・研修、研究、国際活動」と考えられるが、理事就任予定者に希望の担当委員会を確認することにした。評議員は地域割りが良いという意見があった。外部委託については、すでに数社の見積もりを得ているが、現在 HP 管理を委託している業者が比較的様々な業務に対応可能であり、どこまで委託可能で、経費はどの程度かをさらに詳しく確認して検討することになった。研究会から学会への移行に際して、研究会会員の継続/脱会の意志確認が必要ではないかという意見が出たが、学会会費納入時にわかるので、あえて確認する必要はないのではないかという意見も出された。

\*会則案（名称案を含む）を本 NEWSLETTER とともにお送りしますので、ご意見のある方はぜひお寄せください。

また、学会化全般についてのご意見を歓迎します。

研究会の E-mail アドレス：kokusaikango@iris.ocn.ne.jp

## II. 海外情報

---

京都橘大学看護学部 4 回生 稲葉佑苗・松田武恕



2016 年 9 月 8 日～9 月 18 日にオーストラリアのゴールドコーストで「国際看護学Ⅱ」という授業の一環として海外研修を行った。本稿ではナーシングホーム「Hill View House Merrimac」について報告する。

ナーシングホームは多くの高齢者が利用していた。職員は看護師、理学療法士、栄養士、言語聴覚士など多くの専門職が連携、協働していた。写真は中庭から見たナーシングホー

ムである。一部屋ずつ窓があり、日光が当たるようになっている。また、中庭にはベンチがあり、利用者が気分転換に外に出て日光浴ができる。全室個室となっており、個人のプライバシーが確保されていた。また、共有スペースとして食堂や居間などが設けられており、ほかの利用者と交流できる場所もあった。



写真は自力で体を動かすことができない利用者がベッドから椅子へ移動しているところである。日本ではボディメカニクスを用いて人の力で移乗、移送しているところをよく見かける。しかし、オーストラリアでは、体つきが大きい利用者が多いため、人の力だけで移動させようとするとう介護者の腰への負担が大きくなる。また、利用者の転倒・転落の危険性が大きくなる。そのため、機械を介護者が二人以上で用いて利用者が安全・安楽に移

動でき、介護者自身の負担が少なくなるように介助していた。

利用者の生活の質を維持・向上させる方法と環境の中でケアしていることを学んだ。



ナーシングホームで、海外研修へ行った学生 11 名でパフォーマンスをした。全員、浴衣や甚平に着替え、日本の祭りでよく踊られており、海外でも人気があるドラえもん音頭を披露した。利用者の多くは音楽に合わせて手拍子されている姿が見られ、椅子に座ったまま一緒に踊られる姿が見られた。その後には、海外でも人気のある「世界に一つだけの花」と「上を向いて歩こう」を合唱した。パフォーマンスが終了した後は、利用者の皆さんとコミュニケーションを取り、交流を深めた。



左の写真はナーシングホームで働く日本人看護師、施設長と。

この研修を通してゴールドコーストにおける看護の実際を知ることができ、また、多文化共生社会における看護師の役割を学ぶことができた。この経験を活かし、これからも人々によりそった看護の探究をしていきたい。

皆様のご参加をお待ちしています!!

### Ⅲ. 第19回国際看護研究会学術集会案内 (文中の敬称は略しています)

日時：2016年11月26日(土) 10:00~16:30 (終了時刻は予定)

場所：京都市国際交流会館 (<http://www.kcif.or.jp/HP/kaikan/top/jp/index.html>)

テーマ：「国際看護活動を担う人材の育成に向けてー地球的視野を育むー」

基調講演：「地球的視野を育む教育を考える」 河原宣子 座長：森 淑江

特別講演：「国際看護のこれから」 前原澄子 (京都橘大学名誉教授・元三重県立看護大学長)

シンポジウム：「国際看護を学ぶ～授業づくりのヒント～」 座長：竹下夏美 (京都橘大学)

森 淑江 (群馬大学大学院保健学研究科教授)

山田智恵里 (福島県立医科大学大学院医学研究科教授)

マルティネス真喜子 (京都橘大学看護学部専任講師・滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師)

#### JOCV OV 交流企画：「看護師隊員OVカフェ ～話そう！活かそう！つながろう！～」

青年海外協力隊を通して、海外での看護活動を行ってきた看護師隊員OVの方々は、誰にも奪われない“経験”という宝物を持っています。その宝物、しまいこんでいらっやいませんか？青年海外協力隊から帰国して、自分の海外での体験を誰かに話したり、自分の体験が何らかの形で活かされたり、思いと思いがつながって新たな活動が生み出されたり・・・そんな場を作ってみたいと思いました。グループワークとか、プレゼンとか、堅苦しいことは一切排除して、ワールドカフェというスタイルでおこないます。リラックスした雰囲気の中、気楽に参加者同士でおしゃべりしながら、海外での活動経験の活かし方や、新しいアイデアが創り出され、つながりが生まれる場。この機会を通して、皆さんの宝物の輝きがより増すように。ご参加を心よりお待ちしております。

企画者：マルティネス真喜子 (H15-1 エルサルバドル 看護師隊員OV)

一般演題：口演・示説→演題募集期間 10月31日(月)に延長します！奮ってご応募ください!!

## **参加費振り込み方法にご注意ください！**

前号のNLで同封した演題募集要項に誤記がございました。訂正し、心よりお詫び申し上げます。

**本学術集会の口座は総合口座のため、振込用紙を使用できません。参加費の支払い方法は、ゆうちょ銀行への振込みだけになります。**

事前登録（10/31まで） 会員：一般 3,000円・学生 1,500円，非会員：一般 4,000円・学生 2,000円  
当日参加 会員：一般 3,500円・学生 1,500円，非会員：一般 4,000円・学生 2,000円

口座名称：国際看護研究会第19回学術集会

銀行からの振込 ゆうちょ銀行 店名（店番）四四八 普通預金 口座番号：4958752

ゆうちょ銀行に参加費の振込みをお願いします。振り込み人名は、お申込み本人の名前でお振込みください。当日、会場での参加申し込みを行っておりますが、振込みでのお申し込みは、10月31日（月）までとさせていただきます。

国際看護研究会 第19回学術集会事務局 京都橘大学

<http://cai5.tachibana-u.ac.jp/jsin19/> , E-mail: [kokusai19@tachibana-u.ac.jp](mailto:kokusai19@tachibana-u.ac.jp)

担当：マルティネス真喜子（京都橘大学看護学部，[martinez@tachibana-u.ac.jp](mailto:martinez@tachibana-u.ac.jp)）

## **IV. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）**

1. 2015年度及び2016年度会費が未納の方は、振込みをお願いします。研究会は会員の皆様からお振込頂く年会費により運営されています。納入年度は封筒の宛名の右下に会員番号とともに記載されています。なお今年度総会（2016年11月26日）で学会化が決定した場合、2016年度会費を納入している会員は学会への入会金が免除される予定です。

年会費：一般会員 3,000円、学生会員（大学院生を含む） 2,000円

年会費振込先：国際看護研究会 郵便振替口座番号 00150-6-121478

銀行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名 ○一九 店番 019 預金種目 当座預金 口座番号 0121478

振込用紙の通信欄にご記入いただく内容：

【一般会員の方】一般会員の□に印を入れ、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

【学生会員の方】学生会員の□に印を入れ、学校名・学部学科・学年、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

\*4月のNEWSLETTER同封の払込用紙の金額 3,000円を 2,000円に修正してご使用ください。

2. 最近NEWSLETTERが転居先不明で戻ってくる場合が多くなっています。転居された方は研究会事務局 E-mail([kokusaikango@iris.ocn.ne.jp](mailto:kokusaikango@iris.ocn.ne.jp))あてに新住所をご連絡下さい。尚、海外にもNEWSLETTERをお送りしています。

3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報告、活動国の様子、医療事情、あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。

4. 国際看護研究会 HP トップページへ掲載する写真を随時募集します。会員個人が撮影した写真をキャプション（例えば「フィリピン 助産師の母子健診風景」）付きで研究会メール宛添付し、会員名を掲載してよろしいかどうかを明記の上、お送りください。写真はできれば JPEG で、縮小しないでご提出ください。お送りいただいた時点で、写真の使用を研究会に許可（HP 上のみ）いただいたこととなります。

5. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。

6. 第 18 回学術集会抄録の残部があります。購入を希望される方は宛先を書いた A4 サイズの封筒と抄録代金 600 円及び郵送料 205 円の合計 805 円分の切手（100 円以下の小額が望ましい）を国際看護研究会事務局にお送りください。第 17 回までの抄録については、お手数ですが事務局にお問い合わせください。

国際看護研究会連絡先（事務局）／NEWSLETTER 発行元

E-mail : kokusaikango@iris.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsin.jp/>

年会費振込先 : 国際看護研究会 郵便振替口座番号 00150-6-121478

ゆうちょ銀行 〇一九店 店番 019 当座預金 口座番号 0121478

※個人名で書かれた原稿内容は研究会の意見を反映するものではありません。また、NEWSLETTER の記事に関して無断転載を禁じます。皆様のご理解をお願いいたします



2016年10月15日発行

無断複写複製不可

---